

フィール豊橋店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

届出概要

JR豊橋駅から北へ約1kmに、食料品、ドラッグ等の総合店であるフィール豊橋店を新設する。(法第5条第1項)

届出事項

1	届出年月日	平成16年6月30日	
2	店舗名称	フィール豊橋店	
	店舗所在地	豊橋市菰口町3-25ほか11筆	
3	新設する日	平成17年3月1日	
4	届出事項	概要	
(1)	設置者	名称	株式会社フィールコーポレーション
		代表者	代表取締役 蟹江 義雄
		住所	名古屋市昭和区鶴舞二丁目21-6
		備考	なし
	小売業者	名称	株式会社フィールコーポレーション
		代表者	代表取締役 蟹江 義雄
		住所	名古屋市昭和区鶴舞二丁目21-6
		備考	他4名
(2)	店舗面積	2,414 m ²	
(3)	駐車	位置	別紙図面のとおり
		台数	144 台
	駐輪	位置	別紙図面のとおり
		台数	104 台
	荷捌	位置	別紙図面のとおり
		面積	267.8 m ²
	廃棄	位置	別紙図面のとおり
		容量	60 m ³
(4)	営業	開店時間	午前9時
		閉店時間	午後9時30分
	駐車場利用時間帯	午前8時30分から午後10時まで	
	駐車場	出入口数	4箇所
		出入口位置	別紙図面のとおり
	荷捌時間帯	午前6時から午後4時まで	
業態	総合店		
用途地域	準工業地域		

I 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項	評価
(1) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要	○
(2) 責任者の任命	店長を責任者として任命	○
(3) 予測乖離時の措置	対策を検討の上、必要措置を実施	○
(4) 通年の臨時措置	イベント開催時の交通誘導員の増員	○
(5) 開店時の臨時措置	交通誘導員の増員	○

フィール豊橋店

II 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需用の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

① 駐車場の必要台数の確保

ア 指針による算出

店舗面積	日來客数原単位	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車時間 係数	指針必要台数
2,414 m ²	1027.58	15.70%	1,000 m	75.00%	2.00 人	0.72	106 台

総駐車場台数	従業員等駐車場台数	付帯施設駐車場台数	=	来客用駐車場台数	評価
164 台	20台	0台		144 台	○

② 駐車場の位置及び構造等

1 平面自走オペレーター無	2 平面自走オペレーター有	3 機械式駐車場	4 共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
4箇所	0箇所	0箇所	0箇所	146 台

ア 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内	種別	1	収容台数	144 台	歩行者導線	分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	前向き駐車
	出入口数	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	左折入庫	左折出庫	駐車待スペース	判定
東	2箇所	市町村道	15m	931	7m	-	双方向	双方向	-	-
西	なし	市町村道	-	-	-	-	-	-	-	-
南	2箇所	市町村道	6.5m	931	62m	2箇所	双方向	双方向	-	-
北	なし	市町村道	4m	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	警備員の配置 土曜、日曜、祝祭日、イベント時のみ配備									

評価	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理

③ 駐輪場の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	フィール棟東側に2箇所、ドラッグ棟東側に1箇所
駐輪場の収容台数	104 台
標準収容台数	64 台

位置評価	台数評価
○	○

④ 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	267.76m ²	有	13分	2台	7台	○

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
8:00~10:00	14台	15:00~18:00	左記時間帯以外	有	無	○

フィール豊橋店

⑤ 経路の設定等

(1) 車両関係

ア 来客車関係

案内表示	案内員の配置	生活道路の回避	通学路の回避	右折経路	右折用車線	右折入庫
有	配置	回避	回避	有	有	無

イ 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
無	有	非配備

ウ 公共交通機関関係

駐車場の確保
バス停なし

エ 市町村事業関係

パークアンドライド事業への協力	評価
事業なし	○

(2) 歩行者通行関係

通抜可能通路の保持	通行妨害施設	夜間照明の設置	評価
必要なし	無	必要なし	○

(3) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画	評価
実施	実施	○

(4) 防災対策への協力

非難場所の提供	物資の緊急提供	評価
締結可能	締結可能	○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

① 騒音問題対応策

ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	63 m	25 m	来客車両	無	無	-
西方向	57 m	無	作業音	無	無	-
南方向	7 m	無	来客車両	無	無	-
北方向	4 m	無	来客車両	無	無	-

遮音壁の悪影響	遮音壁設置なし	評価
		○

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	建物内に配置
荷捌施設運営面での配慮	アイドリングストップ、搬入車両の削減、作業時間の短縮
荷捌施設機器選択面での配慮	作業員の意識向上
放送設備使用面での配慮	屋外放送無し

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	主に既存住宅に影響が少ない屋上に設置。低騒音機器の選定。
給排気口からの騒音配慮	主に既存住宅に影響が少ない屋上に設置。
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避

フィール豊橋店

② 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	冷却塔	空調室外機	22	給排気口	8	変電施設	浄化槽	ポンプ	エンジン等
		冷凍室外機	3	冷凍機械室						
	変動騒音	ゴミ収集作業	○	BGM		アナウンス				
		自動車走行	○	荷捌イートリング	○	後進警報ブザー	○	台車走行	○	
	衝撃騒音	荷降し音	○	台車走行						
建物の構造(高さ)		鉄骨造2階建								

ア 等価騒音レベル予測

		東(D)	西(B)	南(C)	南(E)	北(A)
用途地域		準工業地域	準工業地域	準工業地域	準工業地域	準工業地域
昼間基準値		60 dB	60 dB	60 dB	60 dB	60 dB
夜間基準値		50 dB	50 dB	50 dB	50 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	46.2 dB	55.1 dB	49.1 dB	49.6 dB	49.4 dB
	評価	○	○	○	○	○
設置者	夜間等価騒音レベル	17.4 dB	17.8 dB	14.2 dB	23.0 dB	34.1 dB
	評価	○	○	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当

イ 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所図書館、特別養護老人ホームの有無					無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容					
		東(d)	西(b)	南(c)	北(a)
用途地域		準工業地域	準工業地域	準工業地域	準工業地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
基準値		50dB	50dB	50dB	50dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	17.8dB	19.1dB	19.2dB	38.4dB
	評価	○	○	○	○
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-	-	-	-

(2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	毎日清掃、生ごみの保冷库保管
衛生問題関係配慮	毎日清掃

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	27.60 m ³	1日	0.72 t	0.10 t/m ³	7.20 m ³	変更なし	○
空缶・空き瓶	6.45 m ³	1日	0.09 t	0.10 t/m ³	0.90 m ³	変更なし	○
厨芥・その他	25.95 m ³	1日	0.55 t	0.15 t/m ³	3.60 m ³	変更なし	○
合計	60m ³	-	-	-	11.70 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	有	空缶・空き瓶の回収箱設置	有
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	有
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	有
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	無

フィール豊橋店

位置・構造	適正な分別の実施	分別保管庫の設置
	搬出作業の利便性の確保	十分な作業スペースの確保
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控えます
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	有
	生ゴミ保管施設の気密性の確保	有

十分な搬送頻度の確保	毎日回収を実施
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	毎日清掃、生ごみの保冷库保管

評価
○

(3) 街づくり等への配慮

風致地区	無	美観地区	無	建築協定	無	景観条例	無
具体的対応策	落ち着いた配色・デザインの採用						
街並みづくりへの協力	要請に応じて検討します						
照明等の配慮	照射方向、強さ、点灯時間等について配慮します。						

評価
○

市町村の意見概要	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場の出入口に交通整理員を配置するなど、交通渋滞及び交通事故の発生を防ぐこと。 ・ 敷地南側の出入口を利用する車が付近に生活道路を通行することにより、住民の生活環境に悪影響を及ぼすことのないよう対策を講じること。 ・ 歩行者及び自転車の駐車場内の通路について、安全に通行できるよう対策を講じること。 ・ 従業員用駐車場を適正な規模で確保すること。 ・ 一般廃棄物と産業廃棄物の分別を徹底すること。 ・ 廃棄物保管庫、厨房などから周辺に悪臭が生じないよう対策を講じること。 ・ 駐車場内における車上狙いなどの犯罪防止のため、防犯カメラの設置及び警備員の巡回など防犯対策に努めること。 ・ 敷地内の緑化に努め、周辺の景観との調和に配慮すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通整理員は、オープン時、繁忙時並びにイベント開催時に場内、出入口に配置し、交通事故防止に努める計画です。 ・ 来場車に対しては、通行経路を公告チラシに掲載する予定です。また、店内放送や掲示にて「生活道路への進入禁止」を呼びかけ、近隣の生活環境の保持に努めます。 ・ 場内の自転車歩行者通路には、横断歩道や歩道ラインを路面表示し、通行区分を明確にします。 ・ 従業員用駐車場は、近隣の駐車場にて20台を確保する予定です。 ・ 建物内において一般廃棄物と産業廃棄物(不燃物等)の分別保管を行います。 ・ 生ゴミ庫は、温度調節が可能な密閉型保管庫とし、悪臭の飛散防止に努めます。 ・ 地元警察との連絡を密にするとともに敷地内巡回(警備員)を行い、防犯に努めます。 ・ 敷地内に植栽帯を設け、周景緑化に努めます。

住民等の意見の概要	対応
意見なし	—

県の意見に至る考え方	
豊橋市の意見に対する設置者の対応等について概ね妥当なものであると考えられる。	

県の意見案	
意見なし	